

第 16 回伊那市地方創生総合戦略審議会 会議録

開催日	令和2年2月7日(金)			
開催時間	開 会	午前10時	閉 会	午前11時55分
開催場所	市役所 多目的ホール			
委員出席者	伊那市議会 伊那地区区長会 高遠町地区区長会 長谷地区区長会 上伊那農業協同組合 上伊那森林組合 伊那商工会議所 長野県経営者協会 上伊那支部 地域交通事業者 伊那市金融団 伊那市社会福祉協議会 伊那市教育委員会 伊那市保育園保護者会連合会 伊那市観光協会 信州大学 公募	飯島 進 平澤 隆 諏訪 光俊 西村 利美 伊藤 昭人 原 武志 向山 賢悟 小口 知彦 石倉 信一 鳥原 秀夫 小池 浩史 北原 秀樹 池上 裕平 向山 知希 林 靖人(代理出席 新井) 舛井 優子		
欠席者	伊那青年会議所 連合長野上伊那地域協議会 中部PTA連合会 伊那市女性人材バンク	小笠原 裕樹 吉川 真一 垂水 浩二 唐澤 桂子		
委員以外の出席者	上伊那地域振興局 企画振興課長	山邊 英夫		
出席した事務局職員等	企画部長 企画部地域創造課長 企画部地域創造課人口増推進係長 企画部地域創造課人口増推進係	飯島 智 唐澤 直樹 田中 久 伊藤 貴		
議 事	(1) 伊那市地方創生総合戦略の改訂について (2) その他			
配布資料	資料1 伊那市地方創生総合戦略【第2版】(追加分) 資料2 伊那市地方創生総合戦略KPI一覧 事前資料 伊那市地方創生総合戦略審議会 意見整理表 事前資料 第2期地方創生人口ビジョン(案) 事前資料 第2期地方創生総合戦略(案)			

1 開 会

2 会長あいさつ

- ・今朝マイナスの2桁に達する寒さであった。
- ・新型コロナウイルスが蔓延している。まだピークに達していないとの報道。ひと、経済の動きを注視していきたい。
- ・去年は長野県においても大きな災害があった。大きな世の中の動きが影響を受けている。
- ・委員の皆様それぞれの立場で今後5年間の伊那市をどのようにしたらいいのか、積極的にご意見いただきたい。

3 会議事項（進行：原会長）

（1）伊那市地方創生総合戦略の改訂について

①人口ビジョンについて

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： （事前資料 意見整理表、人口ビジョン（案）により説明）

会 長： 説明内容について、ご意見、ご質問等がありますか。

委 員： P4の基礎数値について、長野県の記載内容、「2000年を頂点として」となっているが、出典は何か。また、「1998年の長野オリンピック・パラリンピックに向けた1991年から1997年までは転入超過となっていますが、2001年からは再び転出超過に転じています。」とあるが、表現がわかりにくいためどのように理解したらよいか伺いたい。

事務局： 長野県の説明文は長野県のしあわせ信州創造プラン2.0からの抜粋。出典は国勢調査及び毎月人口異動調査と記載してある。原本にはグラフの記載があるが、ここでは記載していないためわかりにくいと思う。

委 員： 出典が違うものが同じ文章に入っているのはわかりにくいのではないかと。「転入・転出による社会増減は、2001年からは再び転出超過に転じています。」としてもよいのではないかと。

会 長： 毎年異動については毎月異動調査を元に県が作成した数値で、その結果。2000年から人口が減少し始めたということではないかと。事務局でも詳細を確認してもらいたい。

委 員： 前回の審議会で質問したP12、13の転出入の合計とP10の社会動態の合計が一致するとの話であったが、計算したところ違っている。確認してもらいたい。

委 員： P27の2つの基本的視点2つ目、「経済縮小対策」の文言について、表現が経済活性化とかであればよいが、縮小という言葉が一般的か。

事務局： 第1期から変更していない。委員からの意見をいただいて検討したい。

委 員： 特に違和感はないのでこのままでよいと思う。

会 長： 人口減少との対応で経済縮小という表現になっていると思う。もう一度事務局で検討していただきたい。

委 員： 前回は驚いたが、地区別人口の推計値が大変少なくなっている。統計手法で計算したと思うが、高遠地区や長谷地区が半分以下になっている。この計算は2000年から2020年の動きだけで、ほかの要素は入れず計算したのか。

事務局： 計算手法はP18に記載している通りであるが、4回の国勢調査の間の3区間の変化率を平

均し、この変化率を活用して将来まで計算している。そのため、変化率が変われば将来の推計値が変わってくる。変化率は国勢調査ごとに変動していて、試しに移住施策に取り組んでいる新山地区のみで計算すると将来人口は安定してくる。今回は市域一律でこの方法を用いて将来の人口を計算している為、移住施策やUターン施策の結果により、コーホート変化率が変わってくれば将来の予測も変わってくる。

- 委員： P4 に「人口減少が…地域活力の低下を招くことが懸念されます。」という記載があるが、これは県の計画そのままを記載しているか。
- 事務局： しあわせ信州創造プラン 2.0 の記載のとおり。
- 会長： P28、P29 に将来人口の具体的な数値が事務局から示されている。前回ビジョンでは 2040 年に 65,000 人と設定していたものについて、前回の会議でもあまりにも実態からかけ離れている、見直すべきとの意見があったため、2045 年に 55,000 人と目標を設定している。社人研の 2045 年の推計値、47,972 人よりは 8,000 人ほど上回る目標ではあるが、前回の目標値からは 10,000 人近く減らしている。こちらについて委員の皆さんから意見をいただきたい。
- 会長： 出生率（2045 年目標値 2.07）についてはいかがでしょうか。
（特に意見なし）
- 会長： 社会動態（2045 年目標値+100 人）についてはいかがでしょうか。
（特に意見なし）
- 会長： 人口目標（2045 年目標値 55,000 人）についてはいかがでしょうか。
- 委員： 前回出された数値よりは現実的な数値ではないか。社人研数値より高い数値ではあるが、ここ目指すという目標として良いのではないか。
- 委員： 前回の数値よりは希望の持てる数値ではないか。この辺が良いのではないか。
- 委員： あまりにも乖離があるのはよくないのでこのあたりで良いのではないか。
- 会長： 個人的には出生率が人口維持水準となり、社会動態が転入超過へ転換できるならもう少し人口が多くなってもよいと思うのだが、2つの目標を達成してこの人口ということなので、非常に高い目標かと思う。

①総合戦略について

- 会長： 事務局から説明をお願いします。
- 事務局： （事前資料 地方創生総合戦略（案・P1 から P14 まで）より説明）
- 会長： P1 から P14 まででご意見ありますか？
- 委員： 目標はこれから 5 年後の目標ということによろしいでしょうか。
- 会長： 5 年後の令和 6 年度となる。
- 委員： P13 に「小学校の小規模化が進む中で、他の小学校と差のない教育」とあるが、現在伊那市では小規模学級の良さを生かした教育や特色を出している。次の ICT 教育につなぐための文章だと思うが、小規模で取り組んでいる教育のプラスの部分も表現していただけるとありがたい。
- 事務局： ご意見のとおり。修正したい。
- 委員： P14 の (5) 農業林業の育成の箇所の特産品のブランド化といった表記があるが、既存の農林業の支援も重要かと思う。近い将来、世界人口の増加による水や食料の競争激化や経済規

模が縮小により現在のように海外から食料を買うということができなくなる恐れがある。食料やエネルギーの自給率を向上の視点も必要ではないか。ブランド化により通常作っているものが衰退するということになると自給率が低下につながるということになりかねない。

事務局： ご意見いただいた視点について検討したい。

会 長： 基本目標4「時代に合った地域づくりと地域間の連携を促進する」であるのに、農業産出額があるが、農業に特化しすぎているのではないか。農業だけを書くのは目標と一致しにくいのではないか。市内での地域同士のつながりを推進する事業を作って目標としたほうが良いのではないか。委員の皆様から意見はないか。

委 員： 基本目標3が産業界についてで、基本目標4は農林業についてなので、この表記でも良いのではないか。

会 長： 伊那市は農林業を推進するという意味でもこの目標というのであればよいのかなと思う。P15以降について事務局から説明をお願いしたい。

事務局： （事前資料 地方創生総合戦略（案・P15からP43まで）より説明）

会 長： 具体的な施策についてご意見いただきたい。

委 員： 前回審議会で労働力不足に向けた外国人労働力の活用や外国人共生に関する質問をさせていただいたが、P26「国際性豊かな地域づくり」に記載されているが、具体的な取組の記載がないように思われる。また、KPIについても特にない。ここは議論があった点なのか。また、具体的に取り組む内容はありますか。

事務局： 担当課と調整し、検討する。

委 員： P19「子ども育成環境整備事業」の中のキャリア教育推進について、キャリアフェスでの参加者や中学生の地域を知ってもらおう、地域を知ろうという姿勢が素晴らしかった。中学生の皆さんが地域に残ってくればよいのにと考えた。小学生の職業体験も素晴らしいと思う。一方で親たちがこの取組を知らないのではないか。親も含めてみんなが知れば少しでも転出抑制につながるのではないか。

事務局： 担当課と調整し、検討する。

委 員： とても大事な意見だと思う。一方で学年600人いる中で、全員が参加することは難しいのではないか。検討していく。

委 員： P18「乳幼児保育の充実と幼児教育の支援」について、保育士の方と交流する中で、保育現場での保育士不足の声がある。保育士は女性が多く、子育て世代の方も多い中で奮闘している。そういった状況の中で、保育の充実の中にマンパワーの充実として保育士の増員のような視点を入れることができないか。

事務局： 担当課と調整し、検討する。

委 員： P10 基本目標1に前回の審議会の意見を反映し、健康寿命の延伸という文言が加わっているが、具体的な施策がない。

事務局： 担当課と調整し、検討する。

委 員： 移住・定住をする人たちが地域の人たちとの間に壁ができてしまうのは良くない。P43記載の小さな拠点づくりの制度の中では地域のコミュニティづくりを意図している。社協では買い物弱者対策を取り組んでおり、その勉強会を行っている為、皆さんもぜひご参加いただきたい。

- 委員：人口ビジョンに書かれている「経済縮小対策」とあるが、戦略には「経済縮小化対策」とあるのでこれで統一するのが良いのでは。また、P17「結婚・出産・子育て支援事業」で「伊那市の30～40歳代未婚率は、10年間で平均7%程度上昇し、」とあるが、現在いくつかのか具体的な数字が必要ではないか。山コンのみ具体名称となっている為、山コン等といった記載が良いのではないか。
- 会長：経済縮小化対策の名称の意図はあるのか。名称について検討をお願いします。
- 委員：P22「移住促進事業」の関係人口事業について、私自身が東京で会社を働きながら伊那に住んでいる。地域の外から来た人が、まちの人と出会う場やイベントができると良いのではないか。すでに来ての人が地元の人と出会う場があると良い。
- 会長：すでに取り組んでいる商店街の事業などが表現できると良いのではないか。
- 委員：P39「森林資源の有効活用促進事業」について、なかなか林業でのビジネスにしていくことが難しい。マーケティングと差別化の視点を入れてはどうか。伊那にしかない、伊那でしかないものをどのように作っていくかが大切。
- 会長：民間では実施しているが、市としてどのようにかかわっていくか、今回の計画に記載するうえで検討してもらいたい。
- 委員：P35「ICTを活用した遠隔教育の実施」についてはすでに実施している。それに加えて、充実のような記載のほうが良いと思う。
- 会長：P18に子育て支援センターの充実や保小連携といった伊那市独自の取組についても記載してもらいたい。
- 副会長：基本的な項目として劇的に変わるインフラとしてリニアと三遠南信が挙げられる。5年後だから書いていないが、リニア、三遠南信について記載が少ない。また、国体の記載も少ないので気になる。また、具体的な施策について担当部署がいくつもあるような場合はどこの部署がイニシアティブをとるのが気になる点として挙げたい。
- 会長：リニア、国体などはこの5年間で重要になると思う。具体的施策に入れられなくとも、記載していただきたい。
- 委員：魅力的な観光資源あるがそのPRができると思う。観光が窓口となってそれが移住につながっていくことが理想だと思う。そういった視点も入れていただくとありがたい。
- 委員：農業関係が理想的に書かれているが、過疎地域の農業の担い手の高齢化が進んでいる。農業法人が担い手となっているが、JAの法人への指導ももっとできないか。またその支援を市でもできないか。
- 委員：農業の担い手問題は一つの対策で完成するものはない。法人への支援は各地域の農業振興センターで行っていて、センターへは市から助成をしている状況。これ以上の具体的な記載はできないと思う。意見はもっともであるので、各センターがこの取組を年度別に事業に落としていくことが重要ではないか。
- 委員：P23「地域資源を活用・継承した観光振興」で現在、観光実施計画（アクションプラン）を策定中である。観光の柱として山・花・食に技を入れて検討している。入れることを検討してもらいたい。
- オブザーバー：今回の会議ではそれぞれの立場での貴重な意見が出されている。内容検討いただき策定作業を進めていただきたい。会長から話のあった地域間連携について、市内だけでなく、交通インフラの整備などの効果に付随して他市町村との連携も進めばと思う。また、キャ

リア教育の周知について話があったが、上伊那地域振興局でもUターンに取り組み、保護者向けのセミナーも検討している。ご協力をお願いしたい。

(2) その他

特になし

4 その他

事務局： 今回いただいた意見をもとに案の作成を行う。その後、パブリックコメントを2月中旬以降に行う予定。3月中に決定する予定。

5 閉会